



市川市文学ミュージアム

企画展「山田洋次×井上ひさし展」関連イベント

# 作品上映会

2月2日(火) 3日(水) 5日(金)

6日(土) 9日(火) 11日(木・祝)



市川市文学ミュージアムで開催中の企画展「山田洋次×井上ひさし展」にちなんだ作品を上映します。企画展と併せてぜひお楽しみください！

## 【上映スケジュール】

- ・BSNダイナミックサタデー  
「ようこそ寅さん 越佐路ロケ帳」

(1983年6月18日放送・新潟放送) 44分

**時間** 10:00~10:44/13:40~14:24

- ・「男はつらいよ」〔1〕

(1968年10月3日放送・フジテレビジョン) 40分

**時間** 12:50~

- ・映画「父と暮せば」

監督：黒木和雄 原作：井上ひさし

(2003年・「父と暮せば」製作委員会) 100分

**時間** 10:55~12:35/14:35~16:15

## 【作品介绍】

- ・「ようこそ寅さん 越佐路ロケ帳」

映画「男はつらいよ」シリーズ31作「旅と女と寅次郎」の撮影が、初夏の越佐路で行われた。新潟県醸造試験場の場長で酒の研究家として知られる嶋梯司氏が山田洋次監督に出した“寅さんの目でふるさと新潟のよさを見直してみたい”という一通の手紙がきっかけだった。ロケーションの様子とともに、周辺の自然と暮らしを描く。

- ・「男はつらいよ」〔1〕

テレビシリーズの第1作。長い間行方不明で、もう顔さえ覚えていない兄・寅次郎（渥美清）が、ある日ひょっこり家に舞い戻ってきた。

- ・「父と暮せば」

昭和23年夏、敗戦から3年後の広島を舞台として、原爆で亡くなった父・竹造の「幻」と生き残った娘・美津江の数日間を中心に描く。井上ひさしの戯曲「父と暮せば」（1994年・こまつ座初演）を、黒木和雄監督がほぼ原作どおりに作り上げた作品。

会場:生涯学習センター2階 文学ミュージアムベルホール

入場無料

申し込み不要

各回先着45名

【問い合わせ】市川市文学ミュージアム

千葉県市川市鬼高1-1-4

生涯学習センター（中央図書館）2階

047-320-3334（月曜休館）

主催：市川市 共催：放送番組センター